



The Rule Book **1**
for Esthetic Dentistry

成功に導くための基準とステップがわかる

前歯部審美治療の

The Rule Book for Esthetic Restorations of Anterior Teeth

ルール



前歯部審美治療の本流が語る
成功を導くためのルール
を集約した待望の一冊

監著 **小濱 忠一**

著
岡崎 伸一
片岡 繁夫
古波蔵 翔
下地 恒太郎
高橋 聡
中島 圭治
中野 環
名取 徹



【監修・執筆】小濱 忠一先生



A4判 228ページ
ISBN 978-4-909066-44-2 C3047
定価 13,200円(税込)

前歯部審美治療の各ステップで絶対的 58のルールから学べます

前歯部審美修復治療に必要なステップを

各ステップでの必須項目を

11のChapterに分類



ルール化して解説

Chapter 1	診察・診断のルール	5 Rules
Chapter 2	補綴前処置を踏まえた治療計画のルール	8 Rules
Chapter 3	支台築造のルール	6 Rules
Chapter 4	支台歯形成のルール	7 Rules
Chapter 5	印象採得のルール	6 Rules
Chapter 6	プロビジョナルレストレーションのルール	5 Rules
Chapter 7	シェードテイキングのルール	2 Rules
Chapter 8	咬合採得のルール	3 Rules
Chapter 9	ラボサイドと上手な連携のルール	3 Rules
Chapter 10	試適のルール	9 Rules
Chapter 11	接着のルール	4 Rules

各ルールの詳細は裏面をご覧ください。

全58 Rules

小濱忠一先生を
筆頭に
総勢9名の
豪華エキスパート
が解説!



小濱 忠一先生



岡崎 伸一先生

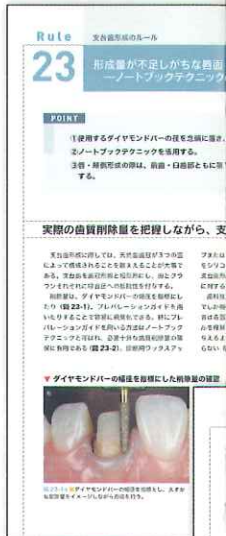


片岡 繁夫先生



古波蔵 翔先生

解説さ
日常臨
マニュアル



こ外せない重要項目を

症例やニーズに応じた
マテリアル選択のルール
がわかる!

Rule Book for Aesthetic Restorations Anterior Teeth

れたルールを
末に落とし込む
しとしても最適!

Rule 06 前歯部・白歯部マテリアル選択のルール

POINT

①マテリアルの理工学的特徴（光透過性、強度）を理解する。
②透明度、歯冠部中央・歯頸部の透明感からシェードガイドを選択する。
③牙冠部の発色状態とクリアランスをチェックする。
④歯冠設計（傾斜、ブリス、発色特性）と咬合力を踏まえて決定する。

マテリアルの特徴と適応範囲

マテリアルの選択は、マテリアルの理工学的特徴（図06-1）を踏まえて、歯冠部の材料決定しければならない（図06-1～06-9）。ただし、クリアランスの確保や発色の透明感やクリアランスを考慮することが必要である。また、マテリアルの発色特性と発色力およびマスキング能力は決定する。これらの特徴を併記する。

マテリアル	透明度	マスキング能力	強度	適応
セラミック（全瓷）	×	○	○	前歯部・白歯部 アブレーション
セラミック（ハイブリッド）	○	×	×	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部
セラミック（ハイブリッド） （ハイブリッド）	○	△	△	前歯部・白歯部

POINT

①天然歯、メタルセラミックスおよびオールセラミックスに光の透過性が与える影響

天然歯、メタルセラミックスおよびオールセラミックスに光の透過性が与える影響を示す図解と写真。天然歯の光透過性は、メタルセラミックスとオールセラミックスで異なる。メタルセラミックスは、メタルコアの存在により光透過性が低下し、オールセラミックスは、セラミックコアの存在により光透過性が向上する。

POINT

①ポーレンレイヤングコーピング材の光透過性と発色の違い

ポーレンレイヤングコーピング材の光透過性と発色の違いを示す図解と写真。ポーレンレイヤングコーピング材は、光透過性と発色の違いにより、天然歯と異なる色調を示す。

POINT

①実歯の色調の透明度による対応

実歯の色調の透明度による対応を示す図解と写真。実歯の色調の透明度は、天然歯の色調と異なる。実歯の色調の透明度は、天然歯の色調と異なる。実歯の色調の透明度は、天然歯の色調と異なる。

POINT

①歯冠形成の準備

歯冠形成の準備を示す図解と写真。歯冠形成の準備は、天然歯の色調と異なる。歯冠形成の準備は、天然歯の色調と異なる。歯冠形成の準備は、天然歯の色調と異なる。

POINT

①ノットブッキングテクニックによる前歯部の保護

ノットブッキングテクニックによる前歯部の保護を示す図解と写真。ノットブッキングテクニックは、前歯部の保護に有効である。ノットブッキングテクニックは、前歯部の保護に有効である。ノットブッキングテクニックは、前歯部の保護に有効である。

POINT

①ガラスセラミックスとジルコニアの色調比較

ガラスセラミックスとジルコニアの色調比較を示す図解と写真。ガラスセラミックスとジルコニアの色調は、天然歯と異なる。ガラスセラミックスとジルコニアの色調は、天然歯と異なる。ガラスセラミックスとジルコニアの色調は、天然歯と異なる。

POINT

①薄い歯冠の場合（ガラスセラミックスによる対応）

薄い歯冠の場合（ガラスセラミックスによる対応）を示す図解と写真。薄い歯冠の場合、ガラスセラミックスによる対応が有効である。薄い歯冠の場合、ガラスセラミックスによる対応が有効である。薄い歯冠の場合、ガラスセラミックスによる対応が有効である。

POINT

①前歯部発色調整の例

前歯部発色調整の例を示す図解と写真。前歯部発色調整の例は、天然歯の色調と異なる。前歯部発色調整の例は、天然歯の色調と異なる。前歯部発色調整の例は、天然歯の色調と異なる。

POINT

①それぞれ別の歯の歯冠形成不足に起因するトラブル

それぞれ別の歯の歯冠形成不足に起因するトラブルを示す図解と写真。それぞれ別の歯の歯冠形成不足に起因するトラブルは、天然歯の色調と異なる。それぞれ別の歯の歯冠形成不足に起因するトラブルは、天然歯の色調と異なる。それぞれ別の歯の歯冠形成不足に起因するトラブルは、天然歯の色調と異なる。

ラボコミュニケーションに 必要な情報もルール化して解説!

Rule 45 ラボサイドと上顎前歯部のルール

POINT

①歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。

②必要に応じて歯冠設計が不十分な場合は、技工士や技工士事務所とコミュニケーションをとり、必要に応じて修正を依頼する。

色調情報は写真、形態情報は参考模型と顔貌・口唇写真が必須

色調情報は写真、形態情報は参考模型と顔貌・口唇写真が必須であることを示す図解と写真。色調情報は写真、形態情報は参考模型と顔貌・口唇写真が必須であることを示す図解と写真。色調情報は写真、形態情報は参考模型と顔貌・口唇写真が必須であることを示す図解と写真。

POINT

①歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。

②必要に応じて歯冠設計が不十分な場合は、技工士や技工士事務所とコミュニケーションをとり、必要に応じて修正を依頼する。

歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。

歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。歯冠設計や前歯部に必要な情報を、写真やメールを用いて伝達する。



下地 恒太郎先生 高橋 聡先生 中島 圭治先生 中野 環先生 名取 徹先生

CONTENTS 各ルールを見開き2ページで最適な図説と表を用いてわかりやすく解説します。

Chapter 1 診察・診断のルール

- Rule 01 良好な治療ゴールを達成するためのルール
- Rule 02 デンタルエックス線写真の読像から再治療の範囲を診断する
- Rule 03 ICPとCRの選択基準とCRポジションの採得方法
- Rule 04 フェイスボウトランスファーとエスティックマウントの選択基準とその実際
- Rule 05 ICPにおける診断用ワックスアップの必要性和製作時の依頼事項

Chapter 2 補綴前処置を踏まえた治療計画のルール

- Rule 06 前歯部・臼歯部マテリアル選択のルール
- Rule 07 治療計画立案のルール
- Rule 08 前処置の優位性
- Rule 09 前処置の治療計画において考慮すべきガイドライン
- Rule 10 前処置としての歯周外科的対応(切除療法による対応)
- Rule 11 前処置としての歯周外科的対応(再生療法による対応)
- Rule 12 前処置としての咬合治療による対応
- Rule 13 前処置としての矯正治療による対応

Chapter 3 支台築造のルール

- Rule 14 なぜファイバーポスト&レジンコアなのか
- Rule 15 支台築造でトラブルを生じさせない根管治療のポイント
- Rule 16 支台築造の基本要件
- Rule 17 直接法と間接法の利点・欠点
- Rule 18 直接法の手順と注意事項
- Rule 19 間接法の手順と注意事項

Chapter 4 支台歯形成のルール

- Rule 20 支台歯形成の目的と基本形態
- Rule 21 こんな形成は困る! —歯科技工士からの眼—
- Rule 22 バーの選択基準と部位別使用法
- Rule 23 形成量が不足しがちな唇面・舌面形成の確認 —ノートブックテクニックの実際—
- Rule 24 歯肉縁下形成の留意点
- Rule 25 歯根近接の場合の留意点
- Rule 26 支台歯が変色している際の留意点

Chapter 5 印象採得のルール

- Rule 27 印象採得の認識事項と目標
- Rule 28 歯肉のフェノタイプ別 圧排コード選択と圧排方法の注意事項
- Rule 29 印象時の注意事項
- Rule 30 印象採得の評価 —失敗症例からその原因を紐解く—
- Rule 31 歯肉圧排のリスクファクターを考慮した適切な印象採得方法

- Rule 32 イントラオーラルスキャナー (IOS) による光学印象採得成功の要件

Chapter 6 プロビジョナルレストレーションのルール

- Rule 33 最終印象までに整えておくべきプロビジョナルレストレーションの要点
- Rule 34 プロビジョナルレストレーションが伝えてくれること
- Rule 35 最終印象後の歯冠形態修正の要点
- Rule 36 材料選択と調整に必要なバーの準備
- Rule 37 不適合や高くないためのウォッシュの要点

Chapter 7 シェードテイキングのルール

- Rule 38 こんな写真は困る —歯科技工士からの眼—
- Rule 39 顔貌および口腔内写真の具備条件

Chapter 8 咬合採得のルール

- Rule 40 咬合採得に用いる材料選択
- Rule 41 咬合採得の手順
- Rule 42 バイトの誤差が生じやすい症例とその対応 —後方歯補綴、多数歯補綴における注意事項—

Chapter 9 ラボサイドと上手な連携のルール

- Rule 43 歯科技工士を困らせるドクターとは? —歯科技工士からの眼—
- Rule 44 補綴修復対象歯数別 技工指示として提供する情報の優先順位
- Rule 45 単独歯・少数歯・多数歯補綴時におけるラボコミュニケーションのルール

Chapter 10 試適のルール

- Rule 46 試適・装着時のルール
- Rule 47 前歯1歯補綴試適時のルール
- Rule 48 前歯多数歯補綴試適時のルール
- Rule 49 ブラックトライアングルに対するルール
- Rule 50 前臼歯部ポンティックデザインのルール
- Rule 51 前歯部ポンティック試適時のチェックポイント
- Rule 52 臼歯部ポンティック試適時のチェックポイント
- Rule 53 咬合調整の実際
- Rule 54 調整終了後の補綴装置の研磨

Chapter 11 接着のルール

- Rule 55 セメントの選択基準
- Rule 56 支台歯側の前準備
- Rule 57 補綴装置側の前処理
- Rule 58 セメンテーションの実際

注文票

品名	税込価格	冊数
成功に導くための基準とステップがわかる 前歯部審美治療のルール	13,200円	



インターアクション株式会社
 東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
 TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
<http://interaction.jp>